

2017年5月13日

## 社員研修取材旅行・近畿地方

2017年5月7日から10日の4日間、社内旅行で近畿地方へと行きました。その旅行のレポートを書きます。

### 一日目



まずは近畿へと向かう道中にある、静岡県の三嶋大社を参拝しました。

ここでは、イザナギ神とイザナミ神との間に生まれた大山祇命[おおやまつみのみこと]と、えびす様として親しまれている積羽八重事代主神[つみはやえことしろぬしのかみ]の二柱の神様を祀っています。大山祇命は、殖産、衣食住の神様で、積羽八重事代主神は漁業航海や

福德・商売繁盛の神様であるため、ビジネスマンや受験生に人気の神社です。私もビジネスマンとしての成功と、そのために最近勉強し始めた資格試験についてお願い申し上げました。

神社内を散策していると、赤く可愛らしいお社に目が留まりました。小さいけれど、池の中心に佇む厳かな雰囲気惹かれ近づいてみると、それは厳島神社でした。こんなところに厳島神社が、と驚きましたが、北条政子が勧請<sup>1</sup>したそうです。分社でしょうか。分社も本社も同



<sup>1</sup> 勧請 (かんじょう) : ① 神仏の来臨を請うこと。

等であるそうですが、この小さなお社が、いかに厳かな雰囲気をもとっていても、あの大きな総本社と同等だと考えるのは少々難しい気がしました。しかし、最近ではパワースポットという言葉が浸透しています。三嶋大社も富士山の気を受けているため、その中にあるこの小さな巖島神社ももしかしたらあの総本社以上のパワーを持っているかもしれません。ただ、総本社のある場所もそのパワーから選ばれた土地だと思うので、比べたらキリがないため辞めます。因みに、巖島神社は全国に約 500 社あるそうです。

その後は沼津市にある武田丸というお店で昼食をとりました。海鮮バイキングです。すぐそばの沼津港でとれた新鮮素材が 60 分間食べ放題ということで、気合いを入れて臨みました。様々な種類のお寿司や海鮮浜焼を食べることができました。お腹いっぱい地の物（海のものですが）を満喫することができ、早速旅行の醍醐味を楽しむことができました。なにより、一つのテーブルで、一つの焼き網を囲んで焼いて食べることができたので、わいわいコミュニケーションを取りながら食事できる点が大きな魅力だと感じました。また、厨房では外国の言葉が飛び交っていて、どこの国の方々なのか疑問に感じました。



その後、滋賀県のホテルへと移動し、夕食をとりに行きました。南草津の鶴橋風月という鉄板焼きのお店です。ここでも一枚の鉄板を皆で囲い食事をしましたが、お昼とは違い、店員さんが焼いてくれました。カウンター席ではなくテーブル席に座っていたのにも関わらず店員さんが焼きに来てくれる点が新鮮でした。テーブル席が多いので常に多くのテーブルの焼き加減を気にして動きまわらなければいけなくてたいへんだらうなあと感じました。

---

② 神仏の分霊を他の場所に移しまつること。宇佐神宮から分霊を迎えて石清水八幡宮をまつたことなどはその例。

③ 勧め、請い願うこと。悟りを開いた釈尊に対して、一切衆生（いつさいしゅじょう）のために法を説くよう梵天（ぼんてん）が勧め、請い願ったことを「梵天勧請」という。

Weblio 辞書より



料理に関してですが、具を混ぜた生地を焼いたものに焼きそばを重ねて層にしたものが印象的でした。これは大阪風お好み焼きなのだろうか？広島風でもないが・・・、と思いました。モダン焼きというのです。知りませんでした。その上おいしかったので、お好み焼きでも文化が混じり合っているのかあ、と面白かったです。

## 二日目

二日目は伊勢神宮へ参拝しに行きました。

御祭神は、内宮が天照大御神、外宮が豊受大御神です。天照大御神はその名の通り、太陽を神格化した神であり、皇室の祖神、つまり日本人の母親であると言われていています。一般的には、複数の神社を参拝する時は位の高いものから低いものへの順で参拝するのが作法ですが、伊勢神宮だけは別で、低いものから高いものへ参拝する、ということで、先に豊受大御神を参拝しました。豊受大御神は食の神様で、天照大御神の食を司っていらっしゃいました。神様が神様のお世話をされていると先生から聞いた時には驚きました。「神様」として一括りのカテゴリで崇めている神様にまで上下関係があることを知らなかったからです。天照大御神はイザナギ神の禊中、左目から生まれた神様で、豊受大御神はイザナミ神の尿から生まれた子どもまた子どもです。日本書紀には豊受大御神の方が天照大御神よりも先に記述されていますが、古事記によるとイザナギ神が最後に産んだ最も貴い三貴神のうちの1柱が天照大御神であり、3神に日本の支配を命じられておりますから、天照大御神の方より高いくらいなのでしょう。



参拝の話をお話しますが、やはり印象に残ったのは 2 度の御垣内参拝です。正装をして、静閑な神宮の中でも一般の参拝客は入ることのできないさらに静かな空間で、進む度に鳴る小石の音が楽器のようでした。神様、特に天照大御神は全てを照らす神様と言われておりますが、特別な空間に入りお参り申し上げたので、他の参拝客より神様のより近くまで行けたような気がしてとても感慨深い気持ちでした。そしてもう 1 つ印象深かったのは御神楽です。広い空間に我々だけで、御垣内では物珍しげに我々を見ている方がいましたが、御神楽ではそういった方々とは隔離され、より静かで荘厳な空間に思えました。「神楽」という言葉は知っていましたが、実際どのようなものかは知らなかったもので、参加させていただいて嬉し



かったです。豪華絢爛に彩るわけではなく、必要な最低限のものだけで演じられる様子が、より貴いものだという雰囲気を作り出していました。巫女さんの舞であったり、雅楽の演奏であったり、お参りとしても、歴史的なエンターテインメントとしても楽しむことができ、素敵な時間でした。正座は慣れていて全く苦しくなかったのも、

昔お習字を習ってよかったとここで感じました。

また、伊勢神宮は我々の祖先であり最高位の神様である天照大御神がいらっしゃるということで、他の神社よりもしっかりとマナーを守って参拝されている方が多かったです。そういった人たちが、神様に敬意を示すだけでなく、より神聖な伊勢神宮をつくりあげているように感じました。

そしてかき氷を頂き、季節を感じつつ、日本酒を堪能されている方々を撮影したり、から揚げを頂いたりした後に、松阪の一八食堂で晩御飯を食べました。県民ショーで見たことがある、「松阪市民

は牛ではなく、鳥が好き?!」  
という地元の味を体験してきました。お味噌も鶏肉も好きなので、鶏肉に味噌ダレをかけて食べるスタイルはとても気に入りましたし、普段味噌ダレを食べることは少ないので新鮮でした。



### 三日目

三日目は竹内さんと京都へ行きました。

最初は二条城を訪れました。お城というと、背が高くそびえたっているイメージを持っていましたが、二条城は縦ではなく、横に長いお城です。階段があつたり、階数があつたりするほうが侵入者の対処がしやすいのでは、と思いましたが、ここではうぐいす張りという工夫が施されています。特殊な鋸を床下に打ち込む仕掛けで、

重さが掛かると鋸が上下に動いてきしみ音が出る仕組みです。その音がうぐいすの鳴き声のようであることからうぐいす張りと言われるようになったそうです。これにより、侵入者への反応がスムーズにできるようです。うぐいす張りは現在では失われた技術らしく、二条城完成から400年以上経ち、科学や技術が発展しようが真似できない先人方の技術力の高さに改めて尊敬の念を抱きました。



昼食は中央区の更科というところで食べました。僕は梅そばを頂きました。梅そばというものを始めて見たので注文しましたが、大根おろしやネギの上に梅がトッピングされていて、とてもサッパリしていました。冷たいそばだろうと思っていたところ、温かいものを注文することができ、雨が降



っていて少々寒かったので嬉しかったです。お出汁の利いたおつゆがとても美味しかったです。

次に、御金神社を参拝しました。ビル群の間にひっそりと佇む小さい神社でしたが、大変人気なようで、これでもかという程絵馬が飾られていました。お金にまつわる神様ということで、億万長者にして下さいというお願いが書かれた絵馬ばかりで、こんなにたくさん



の人をお金持ちにするおも大変だろうなと思いつつ、僕もしっかり自分や会社のことをお願いしてきました。

また、ここでご祭神としてまつられている金山毘古神(かねやまひこのかみ)はイザナギ神・イザナギ神の皇子で、なんと天照大御神と月読神もまつられていました。お参りするまで知らなかったもので、二日連続で天照大御神と月読神に挨拶申し上げることができて嬉しかったです。

次は、嵐山の法輪寺を参拝しました。虚空蔵菩薩様がまつられています。虚空とは大空(宇宙)のことで、この世の森羅万象全てを司っておられるそうです。ここでは線香をあげてきました。神様と仏様との違いはあれども、連日恐れ多い程のお立場の方をお参りすることができ有難く思いました。

また、竹内さんが microSD カードのお守りを購入されていました。携帯電話に挿入していつでも持ち歩けるように、と SD カードのお守りを開発されたそうです。中には菩薩様の画像が入っていて待ち受け画面にすると良いそうです。ただ、容量は 8GB だそうです。最初は 2GB から始まり、現在では 8GB になりましたが、32GB になったら僕も是非買いたいと思いました。



その後、eXcafe で桂川パフェセットを頂きました。カフェとは思えない立派な門構えが特徴的で、見たいと思っていた枯山水を眺めながら紫芋や黒蜜きな粉アイスのパフェと抹茶を頂けてとても落ち着くことができました。

ここではバカンスで日本を訪れているフランス人家族と少しお話することができ、少しでも日本の魅力を知って帰って知人に広めてほしいなと思いました。



そしてこの日最後は三条駅付近のとうふ処 豆雅傳（とうがでん）というお店で晩御飯を食べて締めました。竹内さんのご希望で湯豆腐が食べられるこのお店を訪れたのですが、僕は生ゆば井セットを頂きました。生ゆば井、おぼろ豆腐、卵の花、厚揚げ、豆腐のお味噌汁と、とうふ処の冠通りお豆腐尽くしのセットでとても健康的な晩御飯でした。生ゆば井は、あんかけや生姜でとても優しい味付けでした。

また、外国のお客さんがいらして、店員さんが英語で接客していらっしゃるのを見て、最近英語を勉強しているので良い刺激を受けました。



最終日はなごやか亭へ行きみんなで食事をとって帰りました。食事中突然太鼓の音が鳴り響いたので何事かと思いましたが、こぼれイクラパフォーマンス開始の合図でした。掛け声とともにイクラが盛られて、イクラの量と、店員さんのテンションの高さ両方に驚きました。

みんなで一緒に掛け声をあげて、笑顔で食べることができ、楽しかったです。

これで旅行は終わりました。行ってみてわかったこと、レポートを書く上で調べてみてわかったこと、全て勉強で興味深いことが多かったです。また、入社して一か月での旅行、ということで仕事をする上で大切な皆さんとの親睦を深めることができ、嬉しかったです。以上で今回の研修旅行レポートを終わります。

